

## 第2学年4組 道徳科学習指導案

第2学年4組(児童数 28名)

授業者 星 萌子

1 主題名 自分がしなければいけないこと (内容項目:A「希望と勇気、努力と強い意志」)

### 2 ねらいと教材

(1)ねらい じぶんのすべき勉強や仕事をしっかり行おうとする心情を育てる。

(2)教材名 「ぼくは まけない」(出典:「2 きみが いちばん ひかるとき」 光村図書)

### 3 主題設定の理由

#### (1)ねらいとする道徳的価値について

児童が自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲が大切である。そのためには、まず自分がやるべき勉強や仕事をしっかりと自覚する必要がある。そして自分がやるべきことの意義を考え、簡単にあきらめたり、投げ出したりせずに粘り強く取り組んでいくことの良さを見つめさせたい。やり遂げた後には、喜びや充実感を得られるということにも気付かせたい。

#### (2)児童の実態について

簡単にあきらめたり、投げ出したりせずに粘り強く取り組んでいくことの良さを考えさせるために以下のような指導を行った。

##### ①作文やノート指導

1年生のころと比べ、「作文や板書の書く量が増えた」という思いの児童も出てきている。そこで個別に声かけを行い、少しでもできたこと、書けたことを褒め、前向きに取り組めるよう指導してきた。

##### ②日常の指導

2年生になり、学校の生活に慣れてきて自分でできることも増えてきた。一方、宿題など提出物がルーズになってしまう児童や、漢字練習の直しを嫌がり避ける児童も出てきた。そこで、投げ出したりせずにきちんと取り組むことがいかに大事かを伝えてきた。3年生に向けて、あきらめずに取り組む姿勢を身に付けてほしいと思う。

本題材を通し、自分の経験を他の児童と話し合うことによって、これから簡単にあきらめたり、投げ出したりせずに頑張ろうという思いをもってほしいと考える。

#### (3)教材について

主人公の「ぼく」は、漢字の練習やかけ算九九などの宿題を、毎日がんばっている。しかし「なんだかやる気が出ない」ある日のこと、頭の中に「へこたれむし」の声が始めた。「へこたれむし」はその名のとおり「ぼく」をへこたれさせるような言葉をかけてくる。やるべきことをやめてしまいそうになる「ぼく」はノートの隅に書かれた先生の励ましを見て、思い止まる。すると「へこたれ虫」の大合唱はやみ、退散していく。

「ぼく」の怠けてしまいそうになる弱さを共感的に考えさせ、どんな気持ちで「ぼくまけないよ」と言ったのかという中心的発問をし、やるべきことに向かおうとしている姿に自我関与させて考えさせる。

#### 4 学習指導過程

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応)	□指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>1 自分がしなければいけないことは何か場面を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題      ・ゲーム      ・家の手伝い</li> <li>・係の仕事      ・当番の仕事</li> </ul>	<p>□様々な場面、状況を思い起こさせ、ねらいとする道徳的価値への問題意識を高める。</p>
	<p>しなければいけないことをしっかりするには、どんなきもちが大切でしょう。</p>	
展開	<p>2 「ぼくは まけない」を読んで話し合う。</p> <p>① ため息が出てきたとき、「ぼく」はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やりたくないな。      ・はやくあそびたいな。</li> <li>・ゲームをしたいな。      ・テレビ見たいな。</li> <li>・やりたくないけどやらなくちゃなあ。</li> </ul> <p>② 「へこたれ虫」の歌を聞いた「ぼく」は、どんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あとでやればいいか。      ・先にあそんじゃおう。</li> <li>・やっぱり遊ぼうかなあ。      ・でもやらなくちゃな。</li> </ul> <p>③ 「ぼく」は、どんな気持ちで「ぼくは負けないよ」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほめられたいな。</li> <li>・もっと勉強ができるようになりたい。</li> <li>・毎日宿題をしたらきっと勉強が分かるようになる。</li> <li>・ここでやらなかったら、今まで頑張ってきたぶんが無駄になる。</li> </ul>	<p>□電子黒板に教材の挿絵を掲示しながら読み聞かせをする。</p> <p>□「ぼく」の怠けてしまいたい気持ちに自我関与させ、多様な考えを出させるようにする。</p> <p>□ペアで話し合った後にクラスで意見を共有するようにする。</p> <p>□励ましや称賛されるための気持ちだけでなく、自分自身を高めたいという考えにも気付けるようにする。</p>
	<p>3 自分自身を振り返り、考える。</p> <p>○ もし、へこたれ虫がでてきたら、どうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怒られたくないからやらなくちゃ。</li> <li>・習い事がもっと上手になりたいから頑張る。</li> <li>・今やらないと後が大変になってしまうからやろう。</li> <li>・やらなくちゃ</li> </ul>	<p>□導入の発問を振り返り、その中で「へこたれ虫」がでてきそうな場面が無いと考えさせる。</p> <p>□グループで話し合わせる。</p> <p>☆簡単にあきらめたり、投げ出したりせずに粘り強く取り組んでいくことの良さに気付いている。(ワークシート)</p>
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>□粘り強く取り組んでいくことの良さについて深められるようにする。</p>